

授業科目 看護倫理

【担当教員名】 本間 千代子		対象学年	1	対象学科	看護
		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	15
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	○	○	○	
【概要・一般目標：G10】 看護実践の倫理的意志決定や生命倫理の諸問題に対して医療者としてどのように対処していったら良いのかを考察する。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 倫理とは何かを人間観を通してのべることができる。 2. 医療倫理の原則をのべることができる。 3. 看護倫理の原則をのべることができる。 4. 倫理的ジレンマの事例から自己の考えを決定できる。 5. 生命倫理の諸問題を学ぶことから日本人の生命観の特性をのべることができる。 6. 看護ケアの倫理的場面から自己の考えをのべることができる。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	倫理とは何か、誕生から死への人間観			1	講義と当日レポート
2	医療場面の倫理と原則			1.2	講義と当日レポート
3	看護ケアのジレンマと倫理原則			1.2	講義と当日レポート
4	倫理的ジレンマの事例検討			1～4	G. W
5	生命倫理の諸問題と日本人の特性			2～5	講義と当日レポート
6	看護ケア倫理場面の事例検討			3～6	G. W
7	グループによる課題発表			1～6	G 発表
8	まとめ				
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		看護倫理	小西恵美子	南江堂	2007・2,200円＋税
参考書		看護実践の倫理 第2版	サラT. フライ、片田範子 他訳	日本看護協会出版会	2006・2,200円＋税
		看護倫理学	松木光子	NOUVELLE HIROKAWA	2010・3,200円
		看護倫理を教える・学ぶ	アンダービス、監訳 小西恵美子	日本看護協会出版会	2008・3,000円
その他の資料		医療倫理学の方法	宮坂道夫	医学書院	2005・2,800円
【評価方法】 出席 10% 課題 30% ペーパー試験 60%			【履修上の留意点】 当日まとめレポート BRD 方式にておこなう。 自分の意見を発表した、積極的な発言を期待します。		